

平成26年度学校関係者評価シート(中間評価)

平成26年10月

学校名 三次市立吉倉中学校

評価項目	評価	理由・意見
目標、指標、計画等の設定の適切さ	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中期経営目標において、自らを律し、何事も夢を持って挑戦する生徒を育てることを簡潔に表現され、その実現のための方策として、吉倉中独自の取組を設定するなど意欲的に取り組んでおられることがよく分かる。</li> <li>・ 目標数値等望ましいと思うところに定まれていると思います。</li> <li>・ 目標を明確に設定して取り組みがされていると思います。</li> <li>・ 各生徒が抱えている課題の解消に向けて、基礎的な事項から積み上げていくこと、それを身につけていくことが大切であると思います。</li> <li>・ この点について、生徒がどの程度理解しているのかを分析していただき、目標に向かって進んでいただきたいと思います。</li> </ul>
計画の進捗状況の評価の適切さ	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価指標に基づく実績値を真摯に受け止め、厳しく現状を分析されている。</li> <li>・ 計画もおおむね進んでおり、進捗状況としては適切に行われていると思います。</li> <li>・ 中間までの取り組みで、結果に結びついていないところもありますが、現時点での課題を整理して、これからの取り組みに活かしていける評価をされていると感じました。</li> </ul>
目標達成に向けた取組の適切さ	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組内容が具体的に記載されているとわかりやすい。例えば、「指導を徹底して行っており」のような表現が数多く見られるが、どのように徹底しているのかがわかりづらい。</li> <li>・ 目標に向けて頑張っておられるように見えます。大幅に目標達成できていないところをもう少し取組を重点的に行っていただきたい。</li> <li>・ 基礎知識の定着に努力して欲しい。危機感をもって一層取り組んでください。</li> <li>・ 数字的に見れば、未達成の科目が偏っているように思われます。</li> <li>・ 日頃の取り組みや学習のあり方で、今後の成果は変わってくると思うので、後半に期待しています。</li> </ul>
評価結果の分析の適切さ	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記とも関連するが、いくらか観念的な表現がある。「課題がある」場合は、それがなぜ起こるのか原因分析を明確にする必要がある。</li> <li>・ 昨年度からこままでの結果をしっかりと受け止めて、対策を練られていると思います。</li> <li>・ 日々の積み重ねが大切なことを生徒が理解すれば、もっと伸びていくと思いますので、これからもしっかりと分析をお願いします。</li> </ul>
今後の改善方策の適切さ	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原因分析がもう少し具体的なものになると改善方策もより具体的のものになると思います。</li> <li>・ 必要な点について分析されていると感じました。</li> <li>・ 今一度、目標をクリアしていくための課題を分析いただき、対策を考えていただきたいと感じました。</li> </ul>
総合評価	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高い目標をかかげ、工夫も随所に見られます。高校としても見習うべきが多く、現在の取組をやりきってもらいたいと思います。</li> <li>・ 全体的に子供たちをよく見られていると思います。その上での評価もしっかりと出来ているのではないかと思います。吉倉中が地域の中で、もっと一緒にやっていけるような学校にしていっていただきたいと思っています。</li> <li>・ 「吉倉中3か条」の取組は生徒の自立へつながっているのでは是非続けて徹底してほしいです。</li> <li>・ 日頃よりとても真剣に取り組んでいただいていると感じています。</li> <li>・ 先述しましたが、各教科の課題、個々の理解度を生徒がどの程度の理解をしているのかを明確にし、個々の指導法を考えていく必要があると思いました。</li> <li>・ 保護者の満足度が高いので、家庭でも取り組みをしているのだと思うのですが、実力テストの結果が出ていないことを考えると、日々の宿題のみで保護者が評価していると思われます。</li> <li>・ 自主学习ノートも取り組んでおられるので、宿題以外の学習（これまでの復習や苦手部分の学習）も、取り組みに入れるように考えていただければと思います。</li> <li>・ 学習だけでなく、部活動や地域においても、生徒自身、自分が必要とされていることや、今の自分の力を出し切れるような機会もこれまで同様、ご指導いただければと思います。</li> </ul>

評価 4 適切である 3 おおむね適切である 2 あまり適切でない 1 適切でない